

2000年代のファッション界で影響力を持った女優のひとりに、サラ・ジェシカ・パーカーがいます。

ドラマ「セックス・アンド・ザ・シティ」で着用した服や小物はときに物議をかもしながらもヒットを飛ばし、世界の都市部の光景を変えるほどの力を持ちました。

バレエ用のチュチュ風スカートを着て街を闊歩するトレンドまでは定着しませんでした。10万円を超える高価な靴のビジネスチャンスを広げたのは明らかに彼女の功績。スタイリストのパトリシア・フィールドとともに、女優の名の頭文字をとったSJPは、きれ

【サラ・ジェシカ・パーカー】

50代女性の心の叫び 代弁

いな装いよりも捻破りの面白い装いという価値を提案し、ファッションの可能性を広げたアイコンとして名を刻みます。

あれから20年ばかり。今月、続編にあたるドラマ「アサド・ジャスト・ライク・ザット」が始まりました。当時30代だったSJPも今

は56歳。仲間もみな50代です。50代の女性が、家族の問題や健康などの悩みと共に生きる自然な姿が描かれます。

一時代を創ったドラマの続編とあって注目度は高く、特に今まであまり描かれてこなかった50代女性のあり方に真正面から問いを突き付けている点がポイントです。放送前に撮影風景の写真が公開されると、SNSでは加齢に対する中傷ともとれるコメントが殺到しました。

それに対しSJPは、男性には何も言われないのに、女性にだけ加齢が言及されることに疑問を呈しました。「私は自分の外見をわかっていきます。歳をとるのをやめればいいんですか？ それとも消えてしまえとでも？」。同年代の多くの女性の心の叫びを代弁した一言でした。

Style アイコン



誰もが免れない加齢とどう向き合うか、SJPは身体をはって示そうとしてい

ます。プレミアではチュチュをあしらったオスカー・デ・ラ・レンタのドレスで登場。写真、ロイター。さらなる因習打破による人生拡大の可能性を見せてくれることを期待させます。

さて、ほぼ10年間にわたりましたコラムも本日で最終回です。言葉や行動は、装いと連動することで社会により大きなインパクトを与えうるということ、124人の力強いスタイルアイコンを通してお伝えできたなら幸いです。ご愛読ありがとうございました。

（エッセイスト 中野香織）
* 「Style アイコン」は今回で終わります。